

令和6年度 南相馬市立石神二小学校 グランドデザイン

<児童一人一人の可能性を引き出す>
 ・出来ないところより出来るところを伸ばす
 ・好きなことを伸ばす
 ・チームで伸ばす
 ・一人一人の違いを大切に
 (指導の個別化、人権の尊重)

教育目標

- ・ 進んでまなぶ子ども
- ・ 明るく思いやりのある子ども
- ・ 最後までがんばる子ども
- ・ 健康で元気な子ども

経営の重点

- 探究的な学習の充実(生活科・総合的な学習)
- ・よりよく問題を解決し、自己の生き方を考える資質能力を育成する。
- ・実社会や実生活、SDGsの中から問いを見だし、課題解決・情報収集・整理分析しアウトプットする。
- 児童一人一人が「できる・わかる」(算数の授業充実)
- ・主体的・対話的で深い学び、振り返り・強化
- ・個別最適な学び、協働的な学び、専科の実施
- 児童が生活をよりよくしようと工夫する家庭科の充実
- ・実践意欲を高める学習指導の工夫
- ・児童の成長を見取ることができる評価の工夫

重点目標 よくきき よく考えよう

「よくきき」とは ①友達や教師の話していることを理解しようと自ら進んで耳を傾けること。
 ②わからないことは質問して相手の話す内容や相手の気持ちを今より少しでもわかろうとすること。
 「よく考えよう」とは ①他者の話や行動等あらゆる面で、自分の考えと照らし合わせ「同じだ」「あれ?」「どうして」「なるほど」等、気づきをもつこと。
 ②相手の話をよく聴き、自分事としてとらえることで、自分の考えを広げ、深め、行動できること。

	低 学 年	中 学 年	高 学 年
前期 手立て	① 学び方の基本の指導 ・相手を見てきく ・相手を見て話す ② 「わかった」ことを表現する方法の指導 ・挙手やうなずき等、身体での表現方法 ・音声言語による表現方法 (話し方の例)	① 話を理解できるようにする。 ・発問や言葉かけ、指示などを工夫する。 ② 自分事として捉え考えられるようにする。 ・具体的な課題やめあてをもたせる。	① 「よくきき」 ・相手に身体を向け、うなずく・相槌を打つ等反応しながら話をきく。 ・きいたことを簡単に表現する (書く・話す) ② 「よく考えよう」 ・自分なりの考えをもつ。 ・考えを書いたり話したりして表現する。
後期 手立て	① 学び方の基本の指導 ・相手意識をもった話し方 (発表マニュアル) ② 自分の思いを表現する方法の指導 ・多様な思いを認め合う表現の場の設定 ・理由を明らかにして思いを表現する方法	① 話し合いを充実させる。 ・意見交流の場や考えを練り上げる場を多く設ける。 ② 自分の考えを広げられるようにする。 ・アウトプットできる場を多く設ける。 ・友達のよいところを取り入れられるようにする。	① 「よくきき」 ・相手に身体を向け、要点や自分がすべきことは何かを考えたりしながら最後まで話をきく。 ② 「よく考えよう」 ・自分の考えと相手の考えを比較し、共通点・相違点を見つけ、自分の考えを深める。

	すすんで学ぶ子(知)	明るく思いやりのある子ども(徳)	健康で元気な子ども(体)
P	○学校統一での「市の9つの課題」指導(学力向上) ○継続的な読書活動の具体的立案(司書と連携) ○保護者との教育の在り方共有(学習の手引き)	○一人一人のよさの伸長(場面・環境) ○係活動・清掃活動・当番活動	○季節や行事と関連した業間運動 ○前年度体力テスト結果を生かした取り組み
D	①一人一人が「できる」「わかる」算数授業充実 ・「学びのスタンダード」にそった主体的・対話的で深い学びの実践 ・「問い」や「思い・願い」を引き出した導入(授業スタンダードチェック活用学期3回以上) ・少人数指導、スタディーアプリの実施(5・6年) ・振り返り、適用問題の確保 ・習熟度別学習、ドリルアプリ活用 ②探究活動、体験活動の充実(至誠学) ・学年、ブロック間でのアウトプットの機会設定(学期1回) ・学習発表会での学びの発表(年1回) ・地域に根ざした体験活動(学期1回) ③発達段階に応じた自己マネジメント力を醸成 ・自主学習の手引きを活用した取り組み ④読書活動を推進 ・家庭読書(毎月第3日曜)の実施 ・読書タイムの推進、読書時間の確保の工夫	①思いや考えを伝え合い、「自分を大切にする」「友だちを大切にする」道徳教育実践 ・思いやりの価値項目での互見授業や授業参観での道徳実施(年1回) ②人権教育の充実 ・いじめアンケートの有効活用(毎月) ・SNSの使い方、人権教室等(学期1回) ③教育相談・生徒指導の充実 ・QUテストの効果的な活用 ・学級の枠をこえた学年(ブロック)経営 ④キャリア教育の充実 ・キャリア教育を意識した教科指導、体験活動(学期1回) ・キャリアパスポートの活用(学期2回) ⑤インクルーシブ教育を意識した教育活動の工夫 ・個別の支援計画、指導計画の活用(年2回の見直し) ・合理的配慮のある教育	①体力向上の取り組み ・運動身体づくりプログラムの毎時間 ・年間をととした業間マラソンの実施(学期1回重点) ②自分手帳を活用した健康マネジメント力の育成 ・成長の記録の記入、累積(学期1回) ・食育、健康教育での自分手帳活用(学期1回以上) ③望ましい食・生活習慣の定着 ・栄養教諭、養護教諭とのTT授業(年間1回) ・「マイベントウの日」を関連させた食生活への意識向上に向けた取組 ④自他の生命を守る判断力と実践的な態度を育成 ・避難訓練、引き渡し訓への実践取り組み(学期1回) ・震災を風化させない取り組み(放射線教育 年間2回)
C	①児童、保護者学校評価アンケート(年1回) ②保護者授業参観アンケート(学期1回) ③市学力調査達成率70%以上 8割 ④通知票評価(年間2回)	①いじめアンケート(毎月) ②QUテスト(年間2回) ③キャリアパスポート(年間4回以上) ④特別支援委員会・交流級との打合(学期1回以上)	体力テスト AB40パーセント DE25%以下 自分手帳を活用した肥満度10%以下
A	朝・休み時間等の個別指導 自主学習ノート紹介	道徳科授業 委員会活動・クラブ活動	ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト